JCHO群馬中央病院で診療を受けられる皆さまへ

2019 年 5 月 31 日

当院の診療で得られた試料･情報を利用して下記の研究を実施いたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない方は、下記の問合せ先にご連絡下さい。患者さまの情報を利用または他機関へ提供しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

また、情報の利用を希望されない場合でも、今後の治療などに影響することはありません。この研究に関してご質問等ございましたら下記連絡先までご連絡ください。

この調査研究は JCHO 群馬中央病院倫理審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

①研究計画名	進行胃癌に対する D2 リンパ節郭清を伴う腹腔鏡下幽門側胃切除術の治療成績に関する検討			
②研究責任者	氏名	佐野　彰彦	所属	群馬大学医学部附属病院 外科診療センター　消化管外科
③研究の目的・意義	治癒切除可能胃癌に対する低侵襲手術としての腹腔鏡下幽門側胃切除術は、胃癌治療ガイドライン上でも早期胃癌に対し日常診療の選択肢となりうるとされている。近年急速に普及しており、その手術手技の定型化とともに、進行胃癌に対する D2 リンパ節郭清への応用がなされるようになってきている。当科で行ってきた D2 リンパ節郭清を伴った腹腔鏡下幽門側胃切除術の周術期成績や中長期的治療成績を検討･検証することで、現在行っている手術手技についてその安全性や改善点などにつき評価しさらに精緻な手術となることや、さらなる治療成績の向上を目指していく。			
④研究期間	倫理審査承認後～2019 年 12 月 31 日			
⑤対象となる患者さま	2015 年 4 月 1 日～2019 年 9 月 30 日の期間に治癒切除可能胃癌と診断し腹腔鏡下幽門側胃切除術の適応があり施行に至った患者さま			
⑥利用する試料・情報	電子カルテより以下の情報を利用します。 研究対象者背景 年齢、性別、既往歴、合併症、内服薬、Eastern Cooperative Oncology Group（ECOG）の定めた Performance Status（PS）、身長、体重、周術期データ（術式、手術時間、出血量、輸液量、尿量、輸血量、術前術後合併症、体重減少率、術後在院日数、術後生存期間、術後無再発生存期間、術前治療、術後治療など） 画像診断 上部内視鏡検査、胸腹部造影 CT、X 腺、エコー、術中ビデオ解析 臨床検査			

(2017.3)

	血液学的検査、生化学的検査、凝固検査、腫瘍マーカー、病理学的検査（組織診・細胞診）			
⑦利用する者の範囲	上記の試料・情報は、群馬中央病院にて研究責任者と研究分担者が利用し、その他の機関への提供はする事はありません。			
⑧情報の管理	使用する情報は、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報の匿名化、情報の保管に関しては研究責任者が責任を持って厳重に管理いたします。 また、研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、その際にも個人を特定することのできる情報が公表されることはありません。			
⑨研究対象者、又はその代理人の方からの相談等への対応窓口	対応者氏名	斎藤　加奈	所属	JCHO 群馬中央病院　外科
	ＴＥＬ	027-221-8165（代表）		